

ちっちゃい土器のイトセトラ

—なにこれ？ どこから？ どうやって？—

遺跡の中から出土する土器には大小様々な大きさや形があります。

つつい大きい土器に目がいってしまいましたが、そんな『ちっちゃい土器』を3つのテーマに合わせて展示しました。

ちっちゃい土器のイトセトラ

—なにこれ？ どこから？ どうやって？—

君津市立中央図書館 令和5年12月12日（火）から12月24日（日）

君津市久留里城址資料館 令和6年1月5日（金）から2月4日（日）

写真・資料 千葉県教育委員会 君津市教育委員会

編集・発行 君津市教育委員会生涯学習文化課

令和5年12月12日発行

「ちっちゃいもの」は、おもちゃやフィギュアなど、現代でも多くのものが作られています。

全国の遺跡から出土する遺物にも、実用的ではないものや普通より小さいものである『ちっちゃい土器』が見つかっています。君津市の遺跡からも多くの『ちっちゃい土器』が出土しています。

1 なにこれ？

縄文時代から作られている小さい土器は、「ミニチュア土器」や「手づくね土器」と呼ばれます。これらの土器は、手のひらサイズで、普通の土器を真似して作られます。また、土器以外のものが作られることもあります。

他にも遺跡から出土する土器には、大小様々なものがあり、普通の大きさより小さいサイズのものを「小型土器」と呼びます。時代に合わせて作られるものが変わってきます。

ミニチュア土器
手づくね土器



弥生時代

1 手づくね土器(高さ1.6cm)
竪穴住居跡(SI-090)

2 手づくね土器(高さ1.3cm)
竪穴住居跡(SI-098)

古墳時代

3 手づくね土器(高さ1.5cm)
竪穴住居跡(SI-065)

4 ミニチュア土器(高さ2.1cm)

5 ミニチュア土器(高さ2.6cm) 鹿島台遺跡C区 千葉県教育委員会蔵



弥生時代

1 ミニチュア土器(高さ3.1cm)
郡条里遺跡/溝跡(27号跡)
君津市教育委員会蔵

2 ミニチュア土器(高さ4.6cm)
郡条里遺跡/溝跡(28号跡)
君津市教育委員会蔵



古墳時代

手づくね土器(高さ3.5cm)
戸崎城山遺跡N地点/竪穴住居跡(SI-1)
君津市教育委員会蔵

本展示における『ちっちゃい土器』の定義

- 1 発掘調査の報告書で「ミニチュア」や「手づくね」、「小型」の記載があるもの
- 2 基本的に手のひらにのるもの
- 3 壺や甕などは、高さ20cm以内
- 4 時期にはこだわらず、ちっちゃくて可愛いもの

※上記2項目以上該当した場合を『ちっちゃい土器』とした。

約17cm!



本リーフレットは上記定義をもとに作成した。そのため、土器の大きさは高さや長さのみの記載とした。

小型土器

普通の大きさの土器と小型土器を比較してみると…



縄文時代

1 小型浅鉢(高さ7.3cm)
戸崎城山遺跡
君津市教育委員会蔵

2 小型深鉢(高さ11.8cm)
戸崎城山遺跡
君津市教育委員会蔵

3 深鉢(高さ26cm)
ノビル台遺跡
君津市教育委員会蔵

弥生時代

1 壺(高さ31.4cm)
鹿島台遺跡II/方形周溝墓(SZ-008)
君津市教育委員会蔵

2 壺(高さ15.5cm)
常代遺跡/溝跡(SD-220)
君津市教育委員会蔵

3 壺(高さ18.2cm)
常代遺跡/溝跡(SD-220)
君津市教育委員会蔵

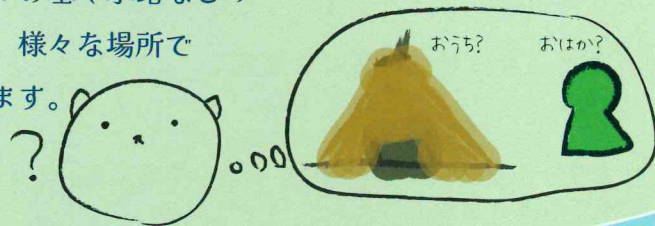




どこから？

これらの『ちっちゃい土器』は、君津市内に限らず、全国的に発見されていますが、遺跡内のどこから発見されると思いますか？

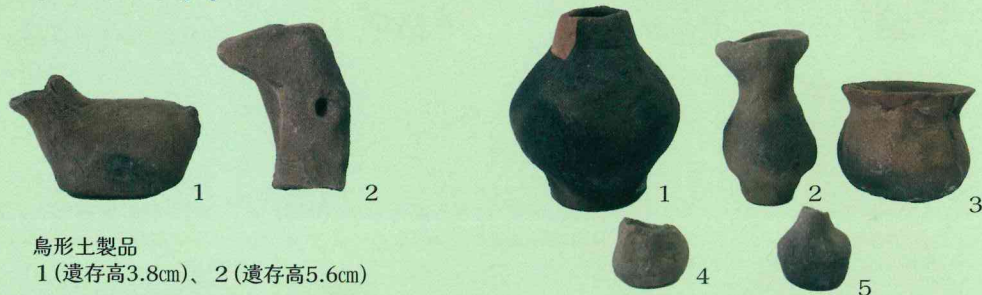
今回展示した土器の多くは、^{たてあなじゅうきょあと} 竪穴住居跡から見つかっています。ほか ^{ほうけいしゅうこうぼ} ほうけいしゅうこうぼ には方形周溝墓・古墳などのお墓や水路などの溝跡からも見つかり、様々な場所で使用していた可能性があります。



常代遺跡の大溝から見つかった『ちっちゃい土器』たち

SD-220

常代遺跡からは旧河道である大溝(SD-220)がみつかっています。そこからは、非常に多くの土器や千葉県指定文化財の木製農具を含む木製品などが出土しています。一緒に『ちっちゃい土器』も多数出土しており、土器以外にも土製品という土で作られたものも一緒にみつかっています。



鳥形土製品
1 (遺存高3.8cm)、2 (遺存高5.6cm)

^{こくれい} 鳥は穀霊を運ぶ神の使いとされており、信仰されていました。鳥形土製品は、農耕に係る儀式などで使用されていた可能性があります。また、鳥形土製品のほとんどは頭部がありません。

ミニチュア土器
1 壺(高さ6.8cm)、2 壺(高さ6.2cm)
3 甕(高さ4.1cm)、4 壺？(遺存高1.7cm)
5 壺？(遺存高2.3cm)

弥生時代
常代遺跡/溝跡(SD-220)
君津市教育委員会蔵

住居跡から見つかった『ちっちゃい土器』たち

古墳時代
1 小型甕(高さ13.6cm)
2 小型甕(高さ12.3cm)
3～6 手づくね土器
3 (高さ6.5cm)、4 (高さ3cm)
5 (高さ5cm)、6 (高さ5.5cm)
鹿島台遺跡C地点/竪穴住居跡(SI-011)
千葉県教育委員会蔵



お墓から見つかった『ちっちゃい土器』たち

お墓から見つかる土器の多くは、^{そうそうざれい} 基本的には葬送儀礼に伴うものであると考えられます。方形周溝墓からは、普通サイズの土器と『ちっちゃい土器』と一緒に出土している例がほとんどです。

普通サイズと『ちっちゃい土器』は別の目的で使用されたのでしょうか？

竪穴住居跡からは、普通サイズの土器と一緒に『ちっちゃい土器』が出土することがよくあります。煮炊きなどの日常使用をする土器とは、別の使用方法があったからだと考えられます。



弥生時代
小型鉢(高さ9.6cm)
常代遺跡/方形周溝墓(SZ-119)
君津市教育委員会蔵



弥生時代
手づくね土器(高さ3.6cm)
鹿島台遺跡Ⅱ/方形周溝墓(SZ-007)
君津市教育委員会蔵

弥生時代
ミニチュア土器(高さ2.6cm)
鹿島台遺跡Ⅰ/方形周溝墓(SZ-003)
君津市教育委員会蔵



弥生時代
小型台付甕(高さ12.2cm)
戸崎古墳群6号墳/方形周溝墓(SZ-1)
君津市教育委員会蔵

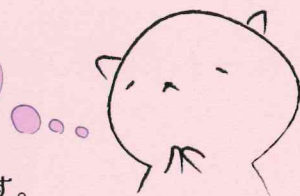
どうやって？

これらの『ちっちゃい土器』はどのように使われていたのでしょうか？

実際には、何に使っていたのかは諸説ありますが、儀礼用や祭祀用、おもちゃなどといった使い方が考えられています。

また、出土した場所から、使い方について考えることができます。お墓から見つかるものは、死者を送る儀礼の捧げものであったり、住居から出てくるものは、現代でいう神棚への日常的な祭祀の可能性が考えられています。

葬送儀礼で使われた『ちっちゃい土器』



お墓から見つかる遺物には様々なものがあります。

普通サイズの土器も『ちっちゃい土器』も様々な理由で使われたと考えられます。



弥生時代
ミニチュア土器(高さ7.5cm)
常代遺跡/方形周溝墓(SZ-75)
君津市教育委員会所蔵

この土器は、方形周溝墓の周溝を掘り込んで埋められた状況で見つかりました。見つかった状況から何かを入れて蓋をしていたと考えられています。土製の蓋が見つからないことから木の蓋をしていた可能性があります。

蓋がなかったため、何を入れていたかはわかりません。



弥生時代
小型深鉢(高さ15.5cm)
常代遺跡/方形周溝墓(SZ-151)
君津市教育委員会所蔵



この土器は、方形周溝墓の周溝の底から出土しました。これは、この土器がお墓が作られたと同時期に、埋葬する際の儀式で使用され、そのまま周溝内に置かれて埋まったのではないかと考えられます。

住居で行われる儀礼で使われた『ちっちゃい土器』たち

発掘された住居からは、食事をするには小さいものや日常生活では使わないものが出土することがあります。これらは、現代でいう神棚に祀る食事であったり、家の中での祈りに使用されたのではないかと考えられます。

古代の人々は、本来は、石や金属などの製品や大きいサイズのものを土や石で真似をして作ることがあります。これらは、土製品や石製品と呼ばれ、祈りや儀式の道具として使われていたと考えられます。

底に孔があいた土器！

2の土器は底に穴があいています。この孔は、焼く前にあけられています。最初から何かをいれるための器ではなかったことが考えられます。



古墳時代
1 土師器杯(高さ3.5cm) 2 土師器杯(高さ4.3cm)
3 ミニチュア土器
4・5 鏡形土製品
4(径3.9×4.2cm)、5(径3.7×3.5cm)
6~10 勾玉形土製品
6(長さ3.1cm)、7(長さ2.7cm)、8(長さ4.7cm)
9(長さ3.8cm)、10(長さ3.8cm)
寺沢出戸遺跡/竪穴住居跡(SI-013)
君津市教育委員会所蔵

使用目的に合わせてちっちゃくなった土器

中世になると陶器などが使用されようになります。その中で使われている土器は「かわらけ(土師質土器)」です。釉薬などを塗っていない素焼きの土器で、土師器の坏に比べると小型のものが多く、これらは、館跡や城跡などで大量に出土することから使い捨ての土器と考えられています。



中世
かわらけ(土師質土器)
青柳西の前遺跡/ビット
君津市教育委員会所蔵